

8

広島少年合唱隊

'67

第8回 定期演奏会

広島少年合唱隊

と き 昭和42年11月3日<文化の日>午後1時
と ころ 広島市公会堂
主 催 広島少年合唱教室後援会

後 援 広島市教育委員会
広島市小学校音楽研究会
中国新聞社
NHK広島中央放送局
中国放送
広島テレビ





(第7回定期演奏会スナップ)

ごあいさつ

皆さま、本日はようこそおいでくださいました。
広島少年合唱隊の定期演奏会も回を重ねて、今回はすでに第8回を数えるにいたりました。

子どもたちの清らかな歌声を伸ばし、音楽を通じてよい仲間づくりをし、真に平和を愛好する人間にまで育てたい。そして、平和都市ひろしまの町づくりのお役に立ちたいとの念願一途に歩んできた8年間です。

現在では、市民の皆さんにも愛され、市の公式の行事でもなくてはならない存在にまで成長してまいりました。当合唱隊が今日あるのもひとえに関係ご当局、各学校等の暖かいご理解ご支援と、市民の皆さんのご後援のたまものと深く感謝しております。

隊員は現在約200名、予科・本科A・B・Cの4クラスに分れていますが、熱心な先生がたのご指導のもとに、暑い日も寒い日もよくその練習に耐えてきました。

今回は、古い歌・楽しい歌・静かな歌・日本の歌・外国の歌等々幅広いレパートリーをご紹介しますほか、本合唱隊の特色ともいえる創作オペッタ「石の正べえ」も上演し、皆さんに楽しんでいただきたいと思います。

このようなささやかな努力が、少しでも郷土の文化開発のいしずえとなれば幸いです。

どうぞごゆっくりご鑑賞のうえ、きたんのないご批正、ご指導をお願い申し上げます。

清純・希望・平和を目標としている合唱隊。広島でただ一つの少年合唱隊がより正しく、より大きく育つために、そして次の世代をになう子どもたちの将来のために、大きく力強い拍手をおよせくださることを祈念してやみません。

広島少年合唱教室後援会長 大石行円

お祝いのことば



広島市長
山田節男

文化の佳き日に、広島少年合唱隊の第8回定期演奏会を開かれますことを心からお喜び申し上げます。

この合唱隊はすでに独自の定期演奏会を、7回も開いた実績を誇る堂々たる合唱隊として、一年ごとに大きく成長されているものですが、その演奏会のたびごとに、不断のご努力のあとがうかがわれる真剣な演奏ぶり、多くの聴衆の賞賛を博していることはいまさらいうまでもありません。ことしも、一段とすばらしい演奏を披露されるものと大いに期待しております。

この合唱隊のすばらしい演奏に魅されて、市民の中にその演奏会を愛好する人たちが逐年増加しているように承っておりますが、まことに喜ばしく存するしだいであります。このようなすばらしい演奏は、一朝一夕でできるものではありません。

隊員の皆さんがたの日ごろの汗と涙のきびしい練習と、それを常に暖かい心で指導にあたってこられた先生がたのご努力、ご父兄がたの絶えまない励ましとが、三位一体となって成就したものでありまして、みなさまがたのご苦労に対して心から敬意を表します。

どうか、この演奏会が盛会でありますことをお祈りするとともに、さらにいっそうの精進をかさねられ、国際平和都市広島にふさわしい、名実ともにりっぱな合唱隊として大きくご発展されんことを念願し、お祝いのことばといたします。

菊かおる文化の日に、芸術の秋を飾るにふさわしい第8回「広島少年合唱隊」の定期演奏会の開かれますことを、心からお祝い申し上げます。

8才を迎えた広島少年合唱隊は、今ではもう広島にはなくてはならない存在となりました。それほど市民に愛され、親しまれる合唱隊になったのはなぜでしょうか。皆さんの熱意です。たゆまぬ努力です。そうして合唱隊をわが子のように愛し、慈しみ育ててくださる先生がた、それにご理解深いご父兄の丹精のおかげです。

毎年の原爆記念日、成人式、そのほか広島市の行事には必ずみなさんの歌声が花を添えています。

「歌をとおして、清く・明るく・たくましい子どもを育てたい」という先生がたの夢は果されつつあります。みなさんの清く美しい歌声を聞くたびに、すさみがちなおとなのわたしたちは何か清涼剤で心を洗われたようなすがすがしさを感ずります。

みなさんは、今や広島市だけの合唱隊ではありません。全国的にもその名を知られるようになりました。広島少年合唱隊員であることに大きな誇りを持って、胸を張って進んでください。

さあ、みなさん、きょうも元気いっぱい、美しい歌声を聞かせてください。1年間の努力の成果は、去年にも増して、すばらしい進歩をみせていることでしょう。

みなさんを愛し、その成長を祈るわたしたちは、心から拍手を贈って、きょうの成功をお祈りし、お祝いのことばといたします。



広島市教育長
盛岡幹造

皆様の電化センター



広島市紙屋町バスセンター前
電話(代表)47-9111番

顧問 エリザベト音楽大学教授 太田 司 朗

このたび広島少年合唱隊が第8回の定期演奏会を開催されることは心から慶祝にたえません。

今夏は三瓶の高原で4日間、隊員といっしょに生活することができました。指導者の熱心と後援会の愛情溢る奉仕、それに児童の規律正しい行動によって予想以上の成果をあげているのを目のあたりに見ました。ことにわたくしは共鳴と息のささえとについて発声の基本であり、しかも最後までたいせつな方法を指導しました。その際感じたことは児童の反応がいたって早いことでした。またたく間にこちらの思うとおりにになりました。これは質のよい児童が集まり、平素の訓練が非常に良いということ立証するものです。定期演奏会の当日はわたくしは中国合唱コンクールのため岡山に行っていますので、せっかくの演奏会に出席できません。どうか平素の力をじゅうぶんに発揮して成功するように願いたします。



顧問 広島県教育委員会指導主事 梶山 逸夫

みなさん、おめでとうございます。第8回の定期演奏会が、意義深い文化の日に開かれることを心からおよこび申しあげます。わたくしたちはこの日のくるのを待っていました。

広島少年合唱隊が誕生して8年になります。平和都市広島にふさわしく、みなさんの合唱隊が年を追ってすくすくと成長される姿をみて、うれしくてたまりません。すぐれた合唱隊として今日あるのは、みなさんの日々たゆみない努力はいうまでもありませんが、ご父兄のかたがたの暖かい愛情と、熱心に指導してくださる諸先生がたの力によるものだと思います。

音楽は、たんに技術の勉強に終わってはなりません。音楽の美しさを求め続けることは、心の美しさを求めることにあると思います。技術とともにみなさんの心を大きく育ててください。

この演奏会のご成功と、これを機会とした、いっそうのご発展をお祈りいたします。

とぎすまされた
伝統の味！



中国醸造

広島少年合唱隊の第8回定期演奏会が開かれることを、心からおよろこび申しあげます。

昨年5月、広く関西各地から、代表者のかたがた多数が大阪に集まり、西日本少年少女合唱連盟が結成されました。もちろん、広島少年合唱隊もその有力メンバーとして参加していただきました。その時各団からそれぞれの活動状況、その他についてご報告くださったわけですが、広島少年合唱隊が、長年にわたって、りっぱな活躍を続けていらっしゃることをお聞きして感心しました。

このごろの子どもには忍耐力がたりない、などといわれている中で、わんぱく盛りの男の子が苦しい練習によく耐え、規律正しい行動をして、200名近い隊員が一つになって、よろこびの中に励んでいらっしゃる姿は全く驚きです。そして、これこそ合唱の持つ大きな力だと思いました。もちろん、指導の先生がたのご努力は、なみたいていではなかったことでしょう。

こんないい団体の中で育っていく子どもさんたちほど、しあわせな人はありません。そして、少年合唱のみが持つあの清純な声の中でこそ、団の目標の一つにもかかげられているように、心も清くみがかれていけることを信じてうたがいません。広島少年合唱隊の皆さんが清らかな歌声をひろめ、西日本少年少女合唱連盟のリーダーとなって、ますますご発展されるよう祈ってやみません。

今夏、三瓶山であった少年合唱隊の合宿練習に一泊ではありましたが、参加できることになり、大石後援会長さんのじょうずな運転でいっしょに行きました。

宿舎の近くに来たとき、ちょうど休憩時間だったので、元気のいい隊員の「声、声」が聞こえてきました。

たいへん楽しそうで、その声を聞いただけで、いい調子だなと思い、この合宿は歌の勉強よりレクレーションのほうがかなとも思いましたが、さてレッスンは始まって驚きました。「シゴキ」もいいところで、各班に分れて「ミッチリ」。

時間割を見ても「コレハ、コレハ」と思うほどの勉強ぶりでした。なるほどここまで先生がたと隊員がいっしょけんめいなものだからいいものができるはずだと感心していたら、後援会のおかあさん、おとうさんの協力ぶりが、またなかなかのもので、皆さんの食事や、おやつの世話をし、不寝番までされると聞いて、秋の演奏会は成功疑いなと思ったのでした。

ですから今夜の演奏会は、ステージ上の演奏だけでなく、客席におられるおかあさん、おとうさんの声のない合唱もいっしょになって美しいハーモニーになり、リズムになっていることをお考えください。

おわりに隊の皆さん、第8回演奏会おめでとうございます。元気いっぱい、歌ってください。



カステラ1番 電話は2番

贈って安心
受けて安心

文明堂の
カステラ

広島支店広島市本通り
電話(代表) 48-0545・0002

ヨーロッパの風味 手焼の味



広島・東白島15-6
TEL. 28-2468(代)

第8回 定期演奏会にあたって

広島少年合唱隊隊長 樋口 正 司

美しく、より美しく!!「限りなき前進」を合いことばとして過ごした8年間ですが、静かにふり返ってみると、必ずしも意のごとく進んだ歩みではなかったように思われます。

しかし、その間、市当局をはじめ、音楽関係者あるいは青少年活動に深い関心をお持ちになる多くのかたがたの、暖かいご指導、ご支援を得てきたことを、この上なくしあわせに思い、心から感謝しております。

現在、隊員は約200名いますが、これを予科・本科A・B・Cの4クラスに編成し、それぞれの教育目標によって練習を積んでおります。

今回の演奏では、予科(3年生)と本科C(4年生)はそれぞれ単独のステージを組みました。

本科A・B(ともに5・6年生)は合同で「宗教音楽」と「レパトリー」の2ステージを持ちました。次に、別な角度から二分して、その1グループは「日本のわらべうた」を合唱し、すっきりした少年合唱の美しさを味わっていただきます。ほかの1グループは、本隊の伝統となっている創作オペレッタ「石の正べえ」を上演し、総合芸術としての音楽劇を楽しんでいただきます。

最後の合同では、本科A・B・C総員により、大合唱のダイゴ味を味わっていただくとともに、曲から受ける広島のエノチを感じていただきたいと思っております。

なお、今回はじめて卒業生のうち変声期が完了している中・高校生がステージに立つようになったことも特筆したいことの一つです。わたくしどもが創設当初から描いていたユメが、今ようやく実現したわけです。

練習不足のためお聞きづらい点多々あるかと思いますが、懸命に歌う子どもたちのために、暖かい拍手をお送りくださるとともに、より大きく育つためのご指導を心からお願いします。

広島少年合唱隊OB 平野 薫

変声期の過ぎたわれわれOBが、再びステージに立つことができると通知を受けたのは真夏の太陽が焼けつくような暑い日のことでした。

隊員のみなさんが、いつも元気よくステージやテレビで活躍している姿をなつかしく、そしてじぶんたちにはもう二度と味わうことのできない世界だとすらやましく思っていたやさきのことでしたが、この通知で少年時代がまたやって来たような心地でうれしくて飛び上がりました。

2回・3回と練習を重ねるたびに昔の少年合唱隊のことがよみがえります。

三瓶合宿でのあの楽しい思い出や、定期演奏会では、初めてのオペレッタに身も心もはずませ、一步一步先生に手を取って教えていただいたことが次から次へと思い出されてきます。

ぼくたちが卒業して、OBとして再び歌いたいという念願が、この第8回定期演奏会に加えていただけることによって実現したことを心からうれしく思っております。

ことはまだ、変声期のすんだOBの人々は少数ですが、これからは年とともにりっぱな現隊員と同じように、OBも永久に少年合唱隊の誇りを忘れず数多く参加できるように望んでいます。

来年のステージでは男声合唱を皆様にも聞いていただくつもりです。

楽しい雰囲気のお店

和風洋食
お食事処

萬 歳

本店エンコウ橋(酒場) 支店中の棚(酒場) 支店中の棚(お食事処)

電話61-5376番 電話48-3841番 電話48-3842-3番

代表取締役 中 本 弘

天 科

信州長野

内長野

御壽司

登録広島 天科 本店
エビス神社前

④11- 3・6・4・7
④12- 7・9・9・0
④13- 2・4・6・0

天下御免 天科 駅前店
中央郵便局前

④2- 3・6・4・7
④3- 合 5 合
④4- 3・5・8・5

プログラム

1. 宗教音楽

- マリアの子守歌
- 主よ みもとに
- グローリア

木 岡 栄三郎 詞
マックスレーガー作曲
讃 美 歌 320 番
ローウェル・メーソン作曲
津川 圭一 訳・編曲
モーツアルト 作曲

本科 A・B 組 O B

指揮 新 宅 吉 文
伴奏 福 井 幸 子

2. 子どものうた

- 夕 日
- 秋 の 山
- あまのじゃく
- 木の葉のダンス
- お 星 さ ま
- 子じかのパンピ

葛 原 しげる 作詞
室 崎 琴 月 作曲
三 越 左千夫 作詞
大 中 恩 作曲
清 水 たまみ 作詞
中 田 喜 直 作曲
相 馬 梅 子 作詞
設 楽 秋 夫 作曲
都 築 益 世 作詞
団 伊 政 磨 作曲
坂 口 淳 作詞
平 岡 照 章 作曲

子 科

指揮 岩 藤 満 子
伴奏 記 録 康 子

3. ドイツのうた

- お 祭 り
- 秋
- 小鳥の結婚式
- ホラヒ・ホラホ

高 橋 信 夫 作詞
ド イ ツ 民 謡
清 水 源 康 作詞
永 柴 良 暁 編曲
ド イ ツ 民 謡
ド イ ツ 民 謡
串 田 孫 一 作詞
ド イ ツ 民 謡

本 科 C 組

指揮 清 水 源 康
伴奏 渡 辺 富 美
児童伴奏 中 村 丘 典
柏 原 保 典

4. 日本のわらべうた

- お山のちょんちょんぎす(手まり唄) ……山口県
- おじいさん おばあさん ……京都府
- ほんぼりさん ……富山県
- と ん ぼ ……新潟県
- た な ぼ た ……広島県
- すずめ すずめ ほしんじょ(もらい遊び) ……青森県

- ジャこかい唄(お手玉唄) ……山口県
- 豆 っ ち よ ……栃木県
- お 手 玉 唄 ……秋田県
- 鬼 あ そ び ……宮城県
- こ ん ざ る ……広島県
- ねむれ ねむれ ねんこん子 ……宮崎県

清 水 脩 編曲

本 科 A・B 組

指揮 鷹 下 昭 一
伴奏 川 島 敏 子

5. レパートリー

◦あ さ ね

松原至大 作詞
弘田龍太郎 作曲
志賀静男 編曲

◦楽しいショティッシュ

小林幹治 作詞
荒谷俊治 編曲
スエーデン 民謡

◦ワルツはずてき

峯陽 訳詞
グルーバー 作曲
菊川迪夫 編曲

本科 A・B 組

指揮 森川明水
伴奏 山本富美子

<休 憩>

6. オベレッタ

石の正べえ

下伊那民話による
少年少女のためのオベレッタ

竹内一次 台詞
松本民之助 作曲

本科 A・B 組

指揮・演出 辻 敏
伴奏 山本富美子
舞台 広島舞台美術
照明 篠本秀吉

7. ひろしまのうた

◦「平 和」

組曲「ひろしま」より 広島少年合唱隊制作
(持田勝穂 作詞)
(森脇憲三 作曲)

◦ひろしまのうた連曲

・広島地方の子もりうた
・いちもんめの
・音戸の船頭歌

永柴良暁 編曲
広島市己斐町探譜
わらべうた
安芸郡音戸町

本科 A・B・C 組

指揮 樋口正司
伴奏 福井幸子